



日建連表彰2024



第65回BCS賞

1. 北側俯瞰
2. 書架空間（リーフライン）
3. アーバントレイル
4. 森のポケット

駅前広場から市道
旭通りへ広がる屋外

更に不整形なカーテン
ウォールなど複雑な建
物を正確に建てる施工
管理の仕組みを三次元
CADを活用して構築
するなど、技術的な工
夫と挑戦が随所に生か
されている。

那須塩原市図書館 ゐるる 概要

- 所在地 栃木県那須塩原市本町1-1
- 建築主 那須塩原市
- 設計者 UAO(株)、(有)金箱構造設計事務所
- 施工者 石川建設(株)、(株)生駒組、(株)万建設興業
- 竣工日 2020年1月31日

- 敷地面積 4,011㎡
- 建築面積 3,078㎡
- 延床面積 4,968㎡

- 階数 地上2階
- 構造 鉄骨造



詳細や他の写真などは
左記の二次元コードから
Webページにアクセスしてご覧ください。

平面的に複数の軸線が重なる建物の構造は、三角形グリッドで構成される屋根梁を用いた柱スパンを二〇以下におさめる合理的なシステムとなっている。こうして実現した多面体の屋根・天井は卓越風を取り入れる環境装置としても機能し、二階フロアや上部の熱だまりの抑制に貢献している。建設にあたっては地元施工会社三社による共同企業体を基に、地元の鉄骨ファブリケーターとも合同チームを編成した。更に不整形なカーテン

スペースは、音楽ライブや祭りなど様々な市民行事の会場としても活用され、みるるを拠点とする地域一体の交流空間として大きな役割を担っている。こうしたまちづくりへの波及は、施主、設計者、施工者の三位一体に加え先導的な地域協働の取組みの成果である。多彩な市民交流の空間と時間を創出し続けるこの図書館に今後も大きな期待を寄せることができ、とても優れたプロジェクトと言える。

人口減少問題に直面する栃木県那須塩原市において、黒磯駅前活性化委員会が中心となる地域再生の取組みとして、駅前広場＋駅周辺一体の再熟化事業に位置付けられた市民交流機能併設の図書館である。那須塩原市ならではのオリジナルブライリーをつくる計画では、設計者の提案を基にブックディレクターや市建設部など関係者が一体化する合同会議が設置され、それを基に市民参加ワークショップや地域事業者も交えた幅広い協働が進められた。

建物を覆う屋根は三角形モジュールによる多面体の連続で構成され、これが外観の軒先に連続する高低差を生み出し街並み景観にも心地よい変化をつくり出している。屋内天井面は森の木立が形づくるリーフラインの様に、高低差のある多様な光環境をつくり出している。

建物を覆う屋根は三角形モジュールによる多面体の連続で構成され、これが外観の軒先に連続する高低差を生み出し街並み景観にも心地よい変化をつくり出している。屋内天井面は森の木立が形づくるリーフラインの様に、高低差のある多様な光環境をつくり出している。

建物を覆う屋根は三角形モジュールによる多面体の連続で構成され、これが外観の軒先に連続する高低差を生み出し街並み景観にも心地よい変化をつくり出している。屋内天井面は森の木立が形づくるリーフラインの様に、高低差のある多様な光環境をつくり出している。

那須塩原市図書館 ゐるる

選定理由【選考委員】

有賀 隆・小堀哲夫・賀持剛一

BCS賞は、建築の事業企画・計画・設計、施工、環境とともに、供用開始後1年以上にわたる建築物の運用・維持管理等を含めた総合評価に基づいて選考し、建築主・設計者・施工者の三者を表彰する建築賞です。この賞は、1960年にはじまり2024年で65回を数えました。

BCS賞

《日建連表彰2024 第65回BCS賞受賞作品》 石川県立図書館／エスコンフィールドHOKKAIDO／Otemachi One／OKI本庄工場H1棟／春日台センターセンター／京都東山計画（山荘 京大和・パーク ハイアット 京都）／高槻城公園芸術文化劇場／東京ミッドタウン八重洲／ところざわサクラタウン／那須塩原市図書館 ゐるる／福井県立一乗谷朝倉氏遺跡博物館／MIYASHITA PARK／明治大学創立140周年記念 和泉ラーニングスクエア／屋島山上交流拠点施設「やしまーる」／読売テレビ新社屋